

・阪神・淡路大震災の話を聞いて、改めて地震は怖いと思ったし、ちゃんと逃げれるように準備をしたいと思いました。地震で6000人以上もなくなったことを知って怖くなりました。

教えてくださりありがとうございました。

・阪神・淡路大震災でいろいろな人やいろいろな建物が崩壊し、大きな被害があったことを詳しく語ってくれたし、いろいろな画像や新聞を見てくれたことで分かりやすくせつめいをしてくれました。

震災のことは僕達が語り継いでいきます。本当にありがとうございました。

・何千人もなくなってしまう災害だからこそ、いつ来るかわからないから、備えが必要だなどと思いました。

これからも災害は来ると思うから近所の人、家族とも協力しあえたらなどとも思いました。

・阪神・淡路大震災は大変だなと思った。「72時間の壁」は阪神・淡路大震災から生まれたのを初めてしった。「人を二度死なせない」という言葉に納得した。道路とかは安全だと思っていたけれど、全然壊れるんだなと思った。地震とかで一番大変だと思っていたのは食料だと思っていたけれど、意外といちばん大変なのはお風呂なんだと思った。語り継ぐことやこの地震の経験を忘れないことが大切だと思った。

これからもこの学習のことを覚えておいて、みんなに伝えたいと思いました。

・阪神・淡路大震災でいろいろなひとが死んでしまい、多くの建物が崩壊したことなどをわかりやすく説明してくれました。

阪神・淡路大震災を経験して語りづらいことも話してくれたと思います。本当にありがとうございました。

- ・三好さんの阪神・淡路大震災の話を聞いて、地震が起こるとどんな事が起こるかということと、地震は、いつ来るのかがわからないのが怖いとおもいました。

災害が起こるときにどのような対策ができるかや、どんなふうに取材をしたか、この震災で何人の人が犠牲になってしまったかなども知れてよかったです。それに、僕が死ぬまでに南海トラフ大震災が起これ、この辺の地域は最大震度6になるということも先生から聞いて、家に帰ったら、災害が起こったら避難する場所を家族と話し、家の家具などを固定して、バッグなどに災害のときに必要なものを入れたり、どのように逃げるかを話そうとおもいました。

地震のときに起こることや、対策を知れてよかったです。地震がなぜ起こるのかを、もっと詳しく知りたくなりました。

- ・阪神・淡路大震災のことを神戸新聞社のおかげで分かりました。
保健の授業でも学ぶことだからしっかり勉強ができました。

阪神・淡路大震災の事をこれからもみんなの記憶に残るようにこれからも忘れずにいたいと思いました。

今日の授業を参考にこれから的人生に繋いでいきたいと思いました。

地震や土砂災害のときのために、携帯トイレや水や食料や新聞やラジオやライターや懐中電灯やさまざまな防災器具を揃えようと思いました。

インターネットにも騙されずに変な情報も流さないようにしたいと思いました。

今日の授業ありがとうございました。

これからにつなげていきたいです。

- ・今まで、ニュースで見て、えー怖いなーって思うだけだったけど話を聞いて、思っている以上に大変なことなんだなと思いました。

地震で6000人以上もなくなるということを知りました。

今まで、避難所に行ったらもう安全だと思ってたけど、話を聞いて、関連死というものを知って避難所に行っても、安全安心ということじゃないということを知りました。

教えてくださいありがとうございました。

- ・阪神・淡路大震災の一回で6434人が亡くなってしまうということを知った。

阪神・淡路大震災のことを教えてくださりありがとうございました。

- ・阪神・淡路大震災のことについて、改めて地震は怖いなと思った。避難所に逃げた人も、避難所で病気になったり、けがをしてそのまま死に至るということが一番嫌だなと思いました。

三好さんに教えてもらってびっくりしたのが長野県が地震が多いということです。地震が多くても海がないので津波が来ないのでまだいいほうだと思いました。

地震が起きたときの新聞紙で作るスリッパなどの対策は簡単にできるので、家でもやってみたいと思いました。自分が生きているうちに強い地震は絶対に起きると言っていたので、避難グッズを揃えておきたいと思います。

阪神・淡路大震災のことを詳しく教えてくださってありがとうございました。

今日話してくれたことを活かしていこうと思いました。

- ・高速道路が倒れていてやばいなと思った。亡くなってしまった人がいっぱいいてやばいなと思った。火事がヤバかった。震度が7でやばいなと思った。震度7は、すごい揺れていると思った。地震がすごい多いんだなと分かった。能登半島地震も、すごいやばいんだなと思った。

南海トラフ巨大地震に備えておこうと思います。

- ・色々と教えてもらって阪神・淡路大震災のことが、めっちゃわかりました。

神戸新聞の三好さん、ありがとうございました。地震のこと、知らなかつたこと、これから大切にしていかないといけないことがいっぱい知れました。

青森県の震度6強（2025年12月8日）だったり、2022年9月、台風15号のフェイクニュース、2024年1月、能登半島地震でのうその「生き埋めSOS」、2016年、熊本地震のときのライオン逃げ出し事件（うそ）などいろいろ。

1995年1月17日の阪神・淡路大震災の死者は6434人、起きた時間は午前5時46分52秒などが知れました。これからもっと家族や友達を大切にしていきたいと思いました。

・神戸や淡路島などがどれだけ多大な被害と悲しみに包まれたのか三好さんに教えていただいたことで今まで以上にわかった。

今まで阪神・淡路大震災の死者数が 1000 超えているか超えていないかなどと思っていたが、6400 人を超える被害がわかって、とても怖くなったり悲しくもなった。

今まで地震が起きたらテレビが倒れるくらいしか思っていなかったが、タンスやベッドが倒れたり滑ってきてたりするなんて想像できないほどの恐怖だと思った。自分が、炎に包まれている神戸や、他の場所を見たら怖くてたまらないと思うし、それを見ても恐怖に包まれずにつぐに避難したり安全な行動を取れた神戸や淡路や大阪などの人がとてもすごいと思う。家具ならともかく、家やマンションやビルが全壊したり半壊したりしてそんな揺れを想像することが怖いし、そんな揺れから生き残った神戸や淡路の人がとてもすごいと思う。

自分はそんなに大きな地震にあったことはないけれど、地震は人の命を奪うほか、火事を起こしたり、大事な建物を壊したり、人にとっても害を与えることを三好さんが話してくれたことで改めて実感できた。

・ぼくは、地震の話を聞いて地震の強さを感じました。

ぼくの国（パラグアイ）ではあまり地震がなかったけど、日本はたくさんあるということがわかったので、お父さんと地震のときにどこに逃げたらいいかを話し合いたいと思いました。

・三好さんは、災害について教えてくれました。まず青森の震度6強と書いてあった新聞を見せてくれました。こんな大きい地震が 100 回に 1 回に起きるということがわかりました。その 100 回に 1 回起きることでも気をつけないといけないと言うことを学びました。

いつ災害が起きても準備できるようにします。

・地震がおきた時間の秒までわかっているのがすごいと思った。死んだ人が 6434 人いたことや、関連死の人が多いこと、72 時間の壁など、そういう言葉ができるほどそんなに被害が大きかったんだと思った。

神戸新聞と京都新聞の災害協定が最初なのもすごいと思った。フェイクニュースも災害でたくさん的人が混乱しているから災害の時に広まるのかなと思った。

都会だとたくさん建物があるから倒れるものも多いし、線路や高速道路も多いから被害が大きくなるのかなと思った。

お風呂も大切と聞いて驚いた。人は二度死ぬなどの言葉もすごいと思った。今度、家でも対策をしたいなと思った。・

阪神・淡路大震災について教えてくれてありがとうございました。6 階で寝ていたら死んでいたらかもしれないけど、2 階で起きていたのがすごい強運だなどと思いました。とても勉強になりました。ありがとうございました。これからも災害が起きてもすぐ対応できるようにしたいです。

・震災出前授業のおかげで逃げたらしい場所や逃げる場所に行くルートなどを考えられてよかったです。

それに非常用に新聞紙で作るスリッパの作り方を教えてくれたり、いっぱいの話をしてくれたり、自分が体験した阪神・淡路大震災のことを教えてくれてありがとうございました。

家の下敷きになった人は何時間で死ぬかとか、逃げたほうがいい場所を考える機会をくれたりしてくれてありがとうございました。